

平成 29 年度 東三河ブロック第 2 回研修会 報告

研修担当 GH 百楽苑 GH みかんの樹

開催日 平成 29 年 12 月 19 日 (火)

場所 豊橋市総合福祉センターあいトピア

時間 13:30 ~ 15:00

内容 施設における高齢者虐待 ~虐待について知り、どう防ぐか考える~

① 高齢者虐待とは (これって虐待?)

ワーク 1 虐待の気づき グループワーク(自己紹介を兼ねて)、座学

② 不適切から虐待にさせない

適切でない言動~虐待の流れを、どこで気づき、食い止めるか。

③ ワーク 2 虐待発生の背景 グループワーク(なぜ虐待は起こるのか)

④ ワーク 3 虐待の予防・防止 グループワーク(どうすれば虐待は防げるのか)

⑤ 施設での虐待を防ぐポイント、虐待時の対応について

参加者

参加事業所 19 事業所 (非会員 3 事業所) 30 名

あいトピアにて虐待をテーマとして、豊橋市中央包括支援センター神野様を講師にお招きして研修を行いました。高齢者虐待に関して、日頃から虐待はしてはいけないものとして、注意をしながら業務に取り組んでいますが、改めて虐待について学び、考える事ができました。虐待には必ずその前兆として不適切ケアが存在しており、その段階で気づき、予防の措置を図る事が必要と講義を受けました。日頃業務を行っているどうしても感覚が麻痺してきてしまいます。グループワークを通して「これは虐待?」「うちの施設ではこういう事を気を付けている」という事業所間での情報交換を行う事ができました。虐待を起こさない為に適切な研修・指導を行う事、「自分がしてほしいケアになっていないか」を常に振り返る事、何より「ほうれんそうのおひたし(職員の報・連・相+上司の「怒らない」・「否定しない」・「助ける」・「指導する」)」を通して、施設内のチームワークを高めていく事が虐待防止につながるという事を学ぶことができました。

誰にとっても、どの事業所にとっても虐待は起こりうる事です。今回の研修を通して改めて自分たちのケアを見つめる事ができました。今後もこういった機会を通して、虐待に対する意識、また横のつながりを強くしていきたいと感じました。

